



川口けいすけのグリーンズ川越

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介

〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 政晴会議員控え室

TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

74
SINCE 2003

9月議会川口の一一般質問より・・・古谷湿地について

市内唯一の湿地を親水空間に

古谷湿地は、川越市の東部にある荒川の旧河川で、現在は麦生川と名を変え、上流は古川、下流は荒川と入間川の合流部近くの入間川に注がれる約9万㎡の湿地帯です。

平成20年に県から譲与され、10年間は水路敷以外の用途に使用してはならない旨が契約書に明記されていましたが、来年の4月でその10年となることから、現状を確認し、**豊かな自然環境が残る古谷湿地を、人々が水辺に親しめる空間として整備をと提言**しました。

答弁では、**県の川のまるごと再生事業で整備された古川排水路とのつながりを踏まえた水辺空間として、地域や関係機関、関係部署との連携を図り、様々な視点から調査研究したい**との考えを示しました。

(以下、質問の要旨より)

Q, (川口) 現在の管理についての考え方は

A, (建設部長) 重要な治水機能を有しており、今後も治水対策としての管理が優先。また、河川環境の保全にも配慮した管理に努めたい。

要請 (川口) 周辺の交通・居住に影響が出ている柳の綿毛対策、草木対策を要請。(一部実施済み。)

Q, (川口) 平成14年以降行われていない生物調査を実施すべきではないか。

(当時は県のレッドデータブックにも掲載される生物が2種確認されている。)

A, (環境部長) 多様な生物が息息する貴重な湿地であると認識しており、市全体の調査地点のバランスを見て検討したい。

Q, (川口) 国土交通省管理の古谷樋管(上郷橋付近の水門)の改修計画はどうなっているのか。

A, (建設部長) 今後20年から30年の整備目標や内容を定めた「荒川水系河川整備計画(平成28年3月公表)」において、堤防の整備に伴い改修が必要な樋管に位置付けられている。

要請 (川口) 少しでも具体的な動きがでてきた時に、地域への早めの情報提供を要請。



古谷湿地南側の様子。(撮影 川口啓介)

* この古谷湿地を「江藤島緑地」とする表記を見かけますが、正式には江藤島緑地とは古谷湿地と川越グリーンパーク横の道路の間にある柵の間にある植込み部を指します。写真の矢印のような箇所です。ご参考まで。



唯一の湿地活用事例 古谷湿地さかな観察会 毎年11月頭に開催!

本年度は台風の影響で中止